

第67回日弁連人権擁護大会プレシンポジウム

憲法市民講座

進行する軍事化に

—戦争を起こさないため
私たちにできること—

2025年(令和7年)

10/25(土)

午後1時30分～午後5時[予定]

開場 午後1時

**参加費無料
事前申込制**

安保三文書(2022年12月)以降、九州・沖縄・南西諸島を中心に全国各地で基地強化・防衛力強化の施策が進んでいます。安全保障上の脅威を想定し、相手の攻撃に備えて防衛力を強化することで「抑止力」を整備することが目的とされています。

しかしながらこのような流れの行き着く先に待つものは、絶え間ない軍拡競争と、再びこの国が戦場となることの現実的危険ではないのでしょうか。それは恒久平和主義を謳いあげた日本国憲法前文・9条の理念とも整合しない未来となるでしょう。今こそ私たちは冷静に隣接するお互いの国・国民を理解することから再スタートし、対話と交流を通じて紛争の芽を摘み、東アジアの平和構築のためにできることを模索するべきと考えます。

本プレシンポジウムでは、近畿二府四県で現在進行中の基地強化・軍備拡大の状況を踏まえ、如何にして戦争への流れを止め、平和構築へ大転換を図るのか、その具体的方法を皆さんと模索していく機会としたいと思います。

京都弁護士会館

地階大ホール (定員 100 名)

Zoom ウェビナー (定員 1500 名)

※定員に達し次第、申込を締め切らせていただきます。

第一部

基地強化の現状報告 — 近畿各地から —

第二部

基調講演 安保三文書後日本はどこまで来たのか、
そして私たちの選択肢は？

講師：石井 暁氏

ジャーナリスト／共同通信社編集委員／立命館大学客員教授

第三部

講師を交えての質疑応答

【主催】 近畿弁護士会連合会

【共催】 日本弁護士連合会、京都弁護士会

申込方法

裏面のURLもしくはQRコードからお申し込みください。

進行する軍事化に

—戦争を起こさないため私たちにできること—

2025年(令和7年)

10/25(土)

午後1時30分～午後5時[予定]
開場 午後1時

講師プロフィール



石井 暁 氏 ジャーナリスト／共同通信社編集委員／立命館大学客員教授

1985年共同通信社入社。1994年から防衛庁、防衛省を30年以上担当。著書に「自衛隊の闇組織—秘密情報部隊『別班』の正体」(講談社現代新書)=TBS日曜劇場「VIVANT」参考文献。「防衛省追及」(地平社)。月刊誌『世界』(岩波書店)12回に渡り寄稿(「『国のかたち』の一方的な変更は許されない」青井未帆・学習院大教授との対談記事(2024年6月号)等)。テレビ朝日、BS-TBS、テレビ東京、TBS等の報道番組にも多数出演。映画「シン・ゴジラ」にも取材協力。辺野古密約報道で沖縄タイムス阿部岳編集委員と「ものたけじ地域・民衆ジャーナリズム賞大賞」「メディア・アンビシャス大賞」「ジャーナリズムZ賞」を受賞。

お申し込み方法



会場(京都弁護士会館)参加、WEB(Zoomウェビナー)参加、いずれの場合も下記URLまたは、QRコードより事前にお申し込みください。(申込期限 10/24(金)まで)

<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/kenpousinpo/presinpo25/>

※事前にお申込みいただけていない場合は、本講座にご参加いただけません。

※定員に達し次第、申込を締め切らせていただきます。

※定員を超え、申込みを受け付けることができない場合のみ、個別に連絡を差し上げます。

WEBからご参加される方へ

■当日、何らかの理由で通信が中断し復旧困難となった場合、やむを得ず本講座のWEB配信を中止する可能性があります(目安として10分以上配信不能となった場合)。

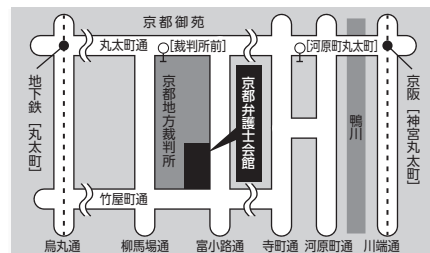
■視聴者のPC環境・通信状況等の不具合について、当会では責任を負わず、Zoomの利用方法等についてのサポート対応等も行いかねますので、予めご了承ください。

■録画(スクリーンショットを含む)・録音や二次利用は固くお断り申し上げます。

アクセス

京都弁護士会館 〒604-0971 京都市中京区富小路通丸太町下ル

地下鉄「丸太町駅」	下車 徒歩約 7 分
京阪鴨東線「神宮丸太町駅」	下車 徒歩約 12 分
バス停「裁判所前」	下車 徒歩約 1 分
バス停「河原町丸太町」	下車 徒歩約 8 分



問合せ先

大阪弁護士会委員会部司法課(近弁連憲法問題連絡協議会担当事務局)

TEL.06-6364-1681 ※平日午前9時～午後5時(正午～午後0時45分を除く)